

MAXZEN

UVライトがバクテリアの繁殖を防ぐ プラズマイオン冷風扇

UVプラズマイオン冷風扇

取扱説明書

品番 RMT-MX403

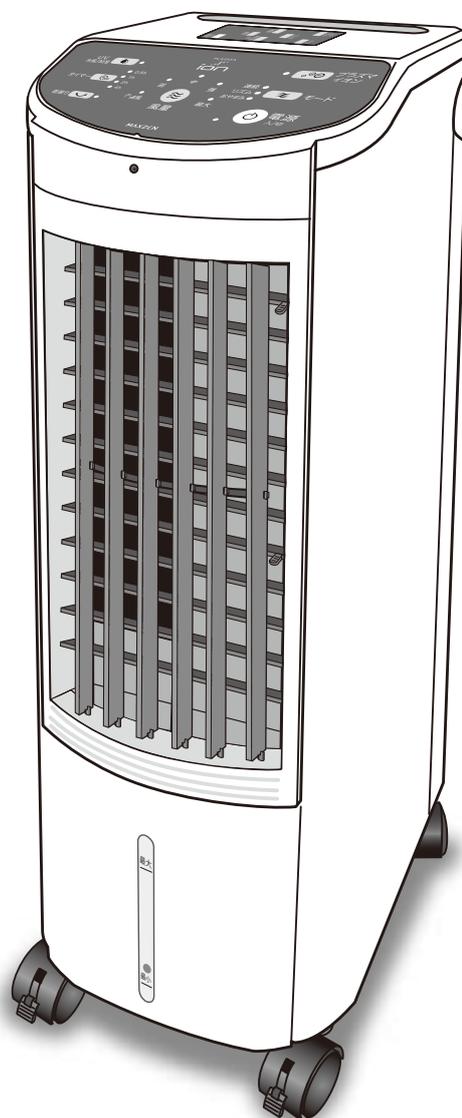
もくじ

ページ

安全上のご注意	P1~3
各部のなまえ	P4
リモコン用ボタン電池のセットのしかた	P5
ご使用前の準備とご注意	P6~7
タンクに水を入れる	P7~8
タンク開閉時のご注意	P9
操作パネルおよびリモコン について(ボタン説明)	P10~11
運転をする	P12
お手入れのしかた	P13~16
故障かな?と思ったら	P17
製品仕様	P18
別売品	裏表紙

日本国内専用

家庭用



このたびは「UVプラズマイオン冷風扇」をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項および警告事項について詳しく記載しています。

本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解されたうえで事故が起これぬように記載内容に従って正しくご使用ください。本製品は一般家庭用に開発された製品です。事故や故障の原因になりますので、業務用としては絶対に使用しないでください。

また、一度お読みになったあとも必要時にいつでも確認ができるように、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。

製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

-  **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
-  **注意** 人が重傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

-  記号は、「禁止」(しないでください)を示します。
-  記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、一般家庭用以外(業務用など)でのご使用や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

警告



絶対に改造、分解、修理をおこなわない

- 火災や感電、けがの原因になります。
- ※修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、操作ボタンを触らない

- 感電やけがのおそれがあります。



業務用や使用目的以外に使わない

コンセントや配線器具の定格を超える使いかた(エアコン、冷蔵庫、電子レンジなどの大きな電力を使う機器と併用するたこ足配線)やAC100V 15A以外では使わない

- たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火の原因になるとともに、接続している機器の損傷のおそれがあります。

電源コードを束ねたり、引っばったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを載せたり、傷つけたり、加工したり、はさみ込んだりしない

- 傷んだまま使用すると感電や故障、発熱や発火で火災の原因になります。

警告



水ぬれ禁止

本体やリモコンを丸洗いしたり、水に浸けたり、水をかけたりしない
●ショートによる感電や故障の原因になります。

お風呂場などの高温・多湿な場所や水のかかる場所では使用しない
●故障や火災の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、熱くなったり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
●感電やショート、発火のおそれがあります。

子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所での使用や設置・保管はしない また、おもちゃとして絶対に使わせない
●感電やけがの原因になります。



禁止

吸気口や吹き出し口のすき間に、ピンや針金などの異物を入れない
●感電や故障、火災の原因になります。

風を長時間、直接身体に当てない

●体調をくずすおそれがあります。

特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方、眠気を誘う薬を服用された方や、深酒、疲労の激しい方はご注意ください。

直射日光の当たる場所や、高温になる場所に放置しない
●故障や色あせ、熱による変形の原因になります。

40℃以上のお湯、化学薬品など水タンクに水道水以外のものを入れない
●事故、故障の原因になります。

日本国内専用

家庭用・屋内用



必ず守る

異常（異音・異臭・焦げ臭い・動かない・ビリビリと電気を感じる・コードを動かすと通電したりしなかったりするなど）があるときには、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止する
●異常があるまま使い続けると、発煙や火災、感電やけがの原因になります。
※お買い上げの販売店にご相談ください。

使用時以外（お手入れ、組立て）は電源プラグをコンセントから抜く
●感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ずプラグ部分を持って抜く
●感電、ショート、発火、破損の原因になります。

⚠ 警告

使用中に、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、使用を中止する

- ショートによる発火のおそれがあります。



必ず守る

電源プラグは、コンセントに確実に差し込む

- 感電、発熱による火災の原因になります。

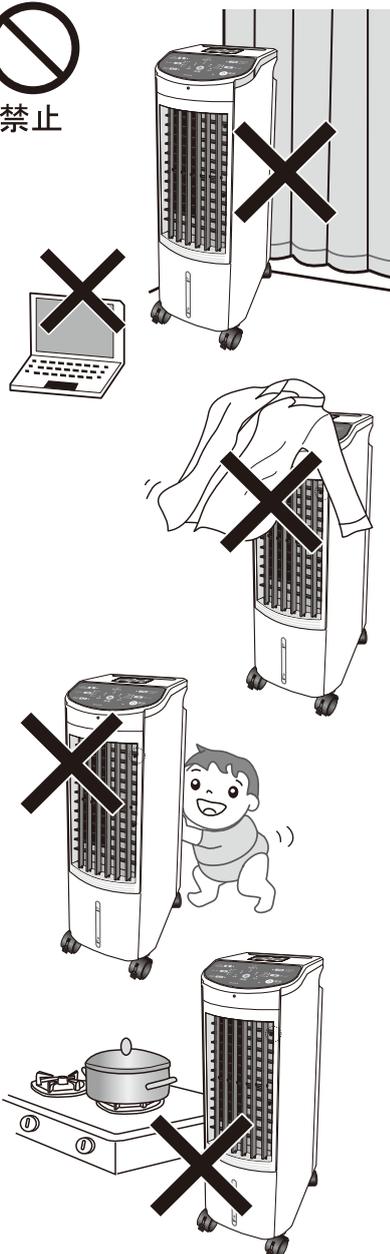
電源プラグに付いた、ゴミやほこりは、定期的に乾いた布で取り除く

- 湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

⚠ 注意



禁止



壁にくっつけたり、カーテンなどの障害物の近く、不安定な場所では使用しない

- 破損や故障、事故の原因になります。

本製品にタオル、布団などをかけて使わない

- 故障や事故の原因になります。

吹き出し口のそばに物を置かない

- 故障や事故の原因になります。

冷風扇の周辺に電気製品、時計、パソコンなどの精密機器を置かない

- 湿気によって故障や誤作動の原因になります。

テレビやラジオ、ビデオ、コードレス電話、エアコンなどの機器から1m以上離す

- テレビ画面のチラつきや、雑音が入るなどの電波障害が起る場合があります。

殺虫剤や掃除用のスプレーをかけない

- 樹脂や塗装部が変質したり、破損するおそれがあります。

本体の上に物を置いたり、乗ったり、寄りかかったり、倒したり、強い衝撃を与えない

- 故障やけがをしたり、水がこぼれるおそれがあります。

倒した状態で使用しない

- 水がこぼれたり、故障の原因になります。

タンクに水が入った状態で移動しない

- 水漏れや故障の原因になります。

火気や高温の物に近づけない

- 本体の変形によるショート、発火の原因になります。

ガスレンジなどの炎の近くや、引火性のある所、雨や水のかかる所では使用しない

粉塵が多量に発生するような場所では使用しない

- モーター破損や故障の原因になります。

各部のなまえ

本体

前面

吹き出し口

左右ルーバー

- 自動で左右約60度に可動します。
詳細:11ページ「首振り」ボタン参照

⚠ 注意

左右ルーバーは手で動かさない
→破損・故障の原因になります。

タンク

タンク水位表示

詳細:7ページ

前方キャスター

- 前方キャスター2か所はストッパー付きです。

持ち手

リモコン収納部 詳細:6ページ

操作パネル

詳細:10,11ページ



上下ルーバー

- 手動で上下の角度を変えます。

背面

持ち手

エアフィルター(外側)

流水フィルター(内側)

詳細:14,15,16ページ

吸気口

収納フック

電源コード収納時に巻きつけます。

詳細:18ページ

後方キャスター

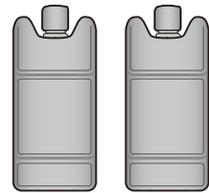
⚠ 電源コードは束ねたまま使用しない
→コードが熱くなり、故障の原因になります。

電源コード

電源プラグ

付属品

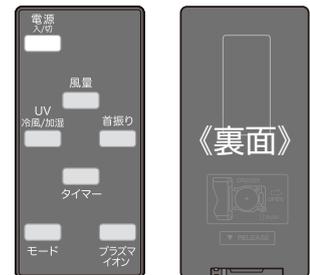
■保冷剤x2個



⚠ 注意

保冷剤の蓋は開けない
→中には冷却液が入っています。

■リモコン 10.11ページ参照



リモコン用ボタン電池1個

(お試し用)※5ページ参照

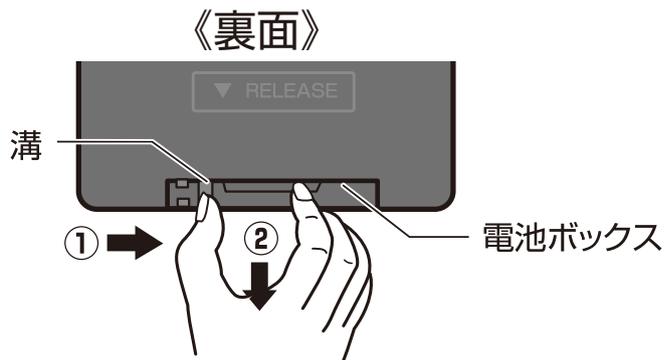
CR2025
+

リモコン用ボタン電池のセットのしかた

※付属されているボタン電池はお試し用です。早めに新しい電池と交換することをおすすめします。

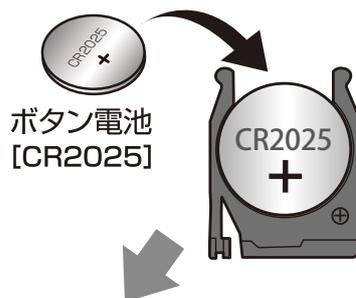
■市販のボタン電池 [CR2025] を 1 個ご用意ください。

- 1** ①リモコン裏の電池ボックスの溝に爪をかけて内側(右側)に押しながら
②電池ボックスを引き抜きます。



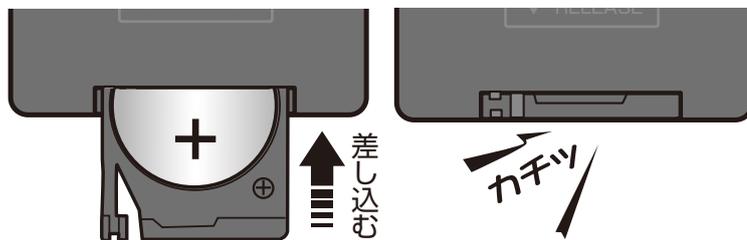
- 2** 引き抜いた電池ボックスに
付属のボタン電池をセットします。

※ボタン電池の[+]面を上にして
セットします。



- 3** 電池ボックスをリモコン下部
に差し込みます。

※「カチッ」と音がするように、
最後まで確実に電池ボックスを
差し込んでください。



電池は正しく使う 守らないと、液漏れ・発熱・発火・破裂をおこし、火災の原因になります。



禁止

- 電池ボックスを逆さに差し込まない → 破損の原因になります。
- 電池を充電したり、加熱したり、分解したり、ショートさせたり、水や液体、火に投入しない
- 電池の【+】と【-】を電気を通す金属で接続しない
- ヘアピンや針金などの金属製のものを近くに置かない



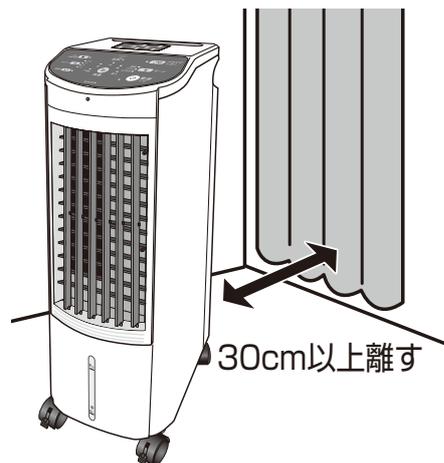
必ず守る

- 小さなお子様が電池を飲み込んだり、舐めないように注意する
- 液が目に入ったり、皮膚に付いたときは、目をこすらずにきれいな水で洗い、すぐに医師に相談する
- 液が衣服についた場合は、きれいな水で洗い流す
- 万一液漏れが起こった場合は、素手で触れない
- リモコンを長期間使用しない場合は、必ずボタン電池を取り出しておく
→長期間、電池を入れっぱなしにしていると液漏れが生じることがあります。

ご使用前の準備とご注意

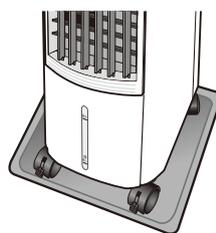
設置について

- 平らで安定した場所に設置します。
- 使用の際は、吸気口をふさがないように設置し、カーテンなどがある場合は、壁面より30cm以上十分に離して設置してください。
→カーテンなどが吸気口に吸い付き故障の原因になります。
- 送風口前面30cm以内には物を置かないでください。



注意

冷風運転をする場合、結露などによって床がぬれる場合があるため、本体をトレイなどの水受けの上に置いて使用されることをおすすめします。



※トレイは付属されておりません。別途ご用意ください。

■テレビやラジオから1m以上離してください。電波障害の原因になります。

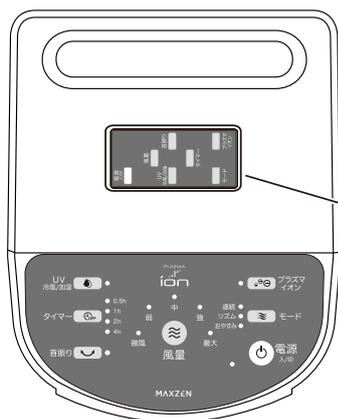
本製品をリモコンで操作する際、下記のような現象が発生する場合があります。

- 1.他社電化製品のリモコンで、本製品が反応する。
- 2.本製品のリモコンで、他社電化製品が反応する。

これはリモコン(赤外線)の周波数が、他社電化製品のリモコンの周波数と重なってしまうことで発生する現象で、製品機能上は問題はありません。誤作動を避けるため、他社電化製品のリモコンが反応しない範囲(本体の向きと距離)でご使用ください。

リモコンで操作する場合の操作ボタンは、本体の操作パネルのボタンと同じです。

※リモコンを使って本体を操作するときは、リモコンの「電波送信部」を本体の「電波受信部」に向けて操作ボタンを押してください。

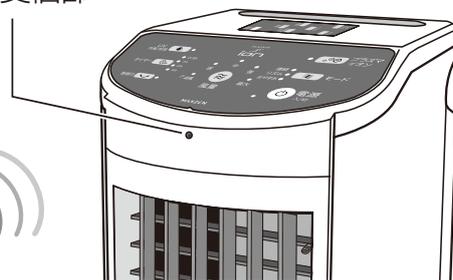


リモコン収納部

リモコンをご使用にならないときは、必要時にすぐ使えるよう、本体上部のリモコン収納部に収納しておくことをおすすめします。

※リモコンの左右どちらかの端を上から押し取り出します。

電波受信部



電波送信部



送風運転をする場合

- 送風運転のみをする場合は、タンクに水を入れる必要はありません。

冷風/加湿運転をする場合

- タンクに水を入れる必要があります。
※凍った保冷剤や氷を入れると、より冷風効果を得ることができます。



タンクに水がない状態で冷風/加湿運転はしない

冷風/加湿運転時は必ずタンクに水が入っていることを確認してから、冷風/加湿ボタンを押してください。→故障・誤作動の原因になります。

- 冷風/加湿運転中、タンクに水がない状態になると、ランプが点滅して警告音が鳴ります。

タンクに水を入れる

- 事前準備として保冷剤を冷凍庫で凍らせておく

※保冷剤の冷凍時間は約6時間(目安)です。
ただし、使用環境によって異なります
のでご使用前にご確認ください。

- 1 本体前面からタンクを引き出す
- 2 タンクの水位目盛りを見ながら「最大」位置まで給水する



**40℃以上のお湯、化学薬品など
タンクに水道水以外のものを入れない**
→タンクが変形したり、事故、故障の
原因になります。

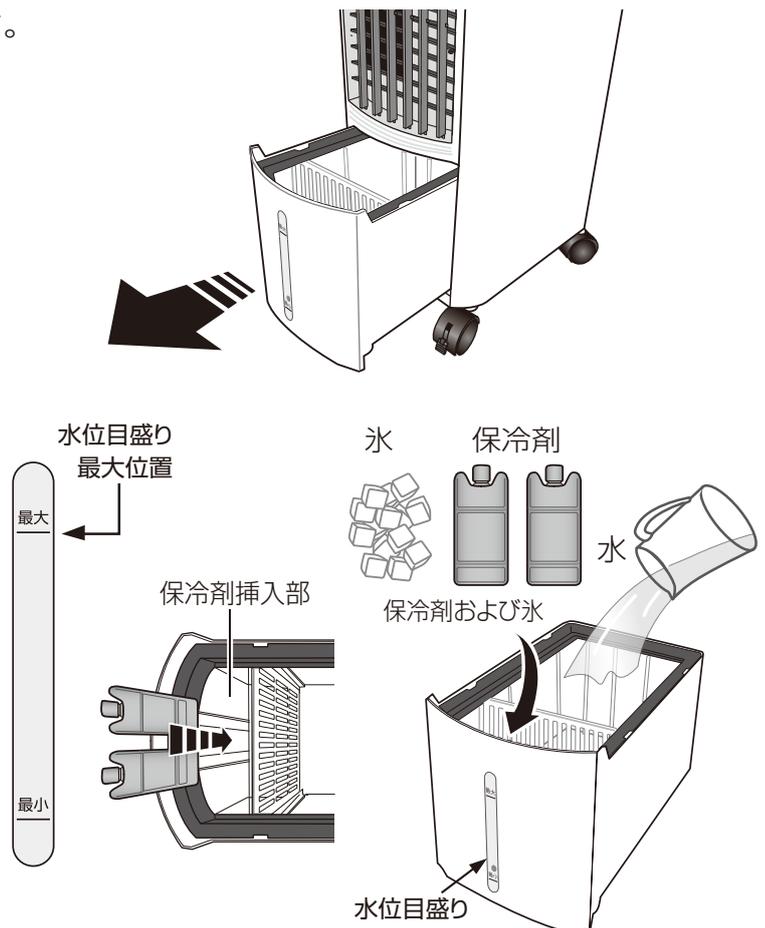
「最大」位置以上の水を入れない
→タンクを運ぶときや、本体へセットする
ときに水がこぼれる原因になります。



必ず守る

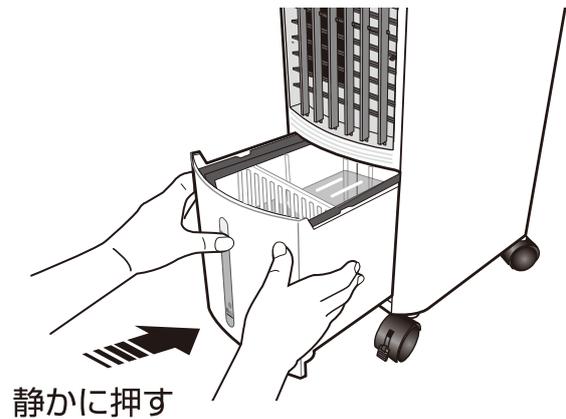
保冷剤や氷を使用する場合、
タンクの保冷剤・氷挿入部に
①最初に保冷剤や氷を入れ、
②次に水を入れてください。

- ⊘禁止 冷却液の入った保冷剤の蓋は開けない



3 タンクを本体に差し込み、静かに押して(9ページ「注意」参照) 確実に本体にセットする

※タンクが本体に挿入できない場合、吸い上げポンプが下に下がってしまったことが考えられます。その場合は、以下を参考にして直してください。

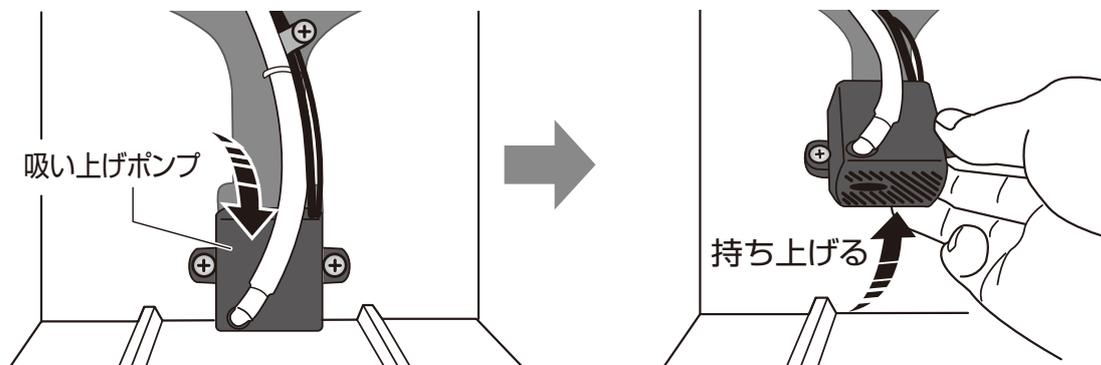


吸い上げポンプが下に下がってしまい、タンクが挿入できない場合は

通常、吸い上げポンプは、タンクを挿入するとタンク内に下がってタンクの水を吸い上げます。タンクを引き出すと、自動的に上に上がり固定されます。このような構造でタンクの挿入がスムーズにおこなえるようになっています。

直しかた

下がった「吸い上げポンプ」の裏から手で上部に持ち上げて固定してください。



- 冷風/加湿運転中、タンクに水がない状態になると、ランプが点滅して警告音が鳴ります。
- 警告音が鳴ったり、タンクの水が「最小」に近づいたら、冷風/加湿運転を止めて、タンクに残った水をすべて捨てて新しい水に入れ替えて、再度冷風/加湿運転をおこなってください。



最小以下の水位では使用しない →故障・誤作動の原因になります。

必ず守る 水が減ってきたら水の注ぎ足しをせずに、新しい水を給水する

- 気温の高い時期に、タンクに水を入れたまま4~5日使用しないと、水が腐って悪臭の原因になるため、必ず毎回新しい水に入れ替えて常に清潔な状態で使用してください。

お願い

- 定期的に本体からタンクを取り出して内部を洗ってください。
→タンク内部のヌメリなどをそのままにして水を入れておくと、水が腐って悪臭の原因になります。

⚠ タンク開閉時のご注意

タンクを引き出すときは、以下の手順を守っておこなってください。

1.電源を切り数分ほど置く。

※ 稼働中に内部を循環していた水を切るため。

2.流水フィルターを取り外す。

※ 流水フィルターは水を含んでいるため、取り外す際に水がこぼれる場合があります。取り外す際は十分ご注意ください。

3.タンクを引き出す。

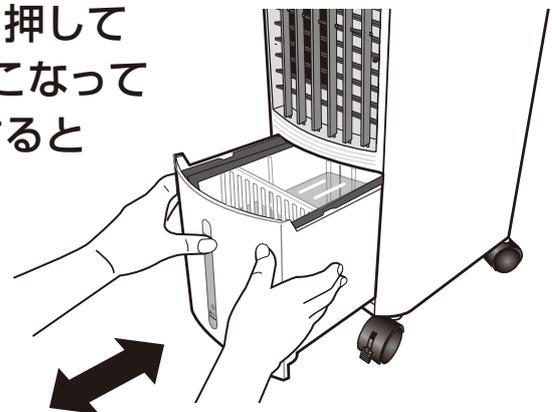
上記の手順でおこなわない場合、流水フィルターに含まれている水が本体内部にたまり、水漏れの原因になります。

⚠ 水の入ったタンク 開閉時のご注意

水の入ったタンクを引き出したり、押して本体にセットするときはゆっくりおこなってください。強く開けたり閉めたりするとタンクから水があふれ出て床をぬらす原因になります。

お願い

吸い上げポンプに残った水が垂れて床をぬらす場合がありますので、事前にタオルなどをご用意ください。

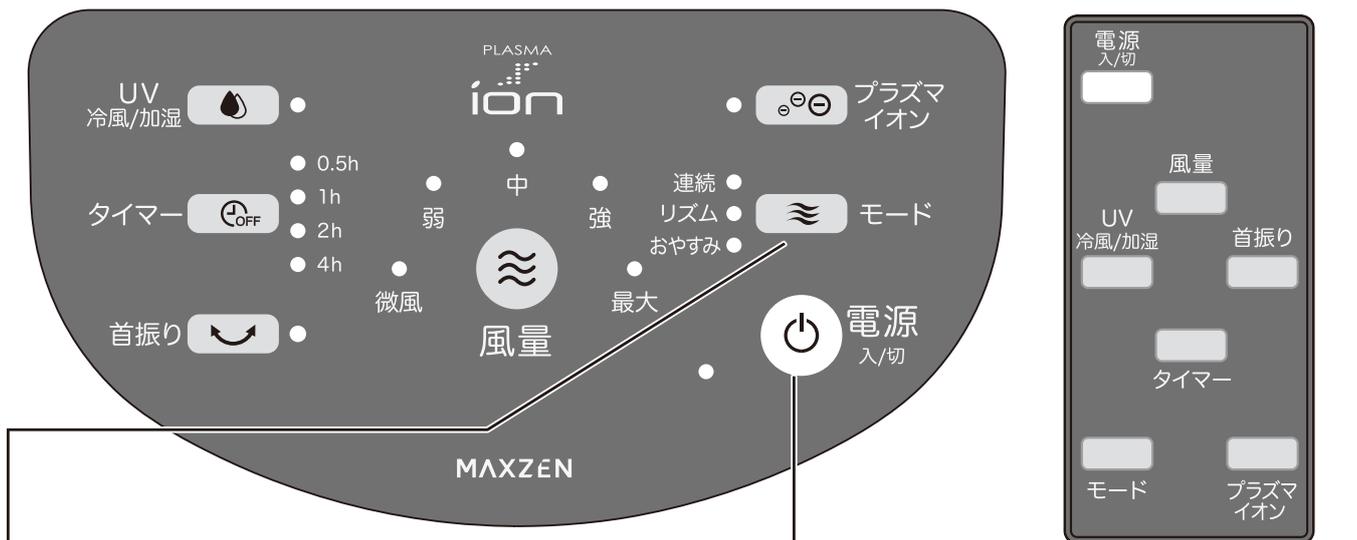


ゆっくりおこなう

操作パネルおよびリモコンについて(ボタン説明)

本体操作パネル

リモコン



■「電源入/切」ボタン

ボタンを押すと「連続」・「微風」(初期設定)の表示ランプが点灯して送風運転を開始します。もう一度押すと運転が停止します。

電源(切)時はメモリー機能が働きます。再度電源(入)にすると電源(切)前の状態で運転を始めます。※冷風設定、モード設定、タイマー設定を除くコンセントから電源プラグを抜いた場合(断電)は、メモリー機能が解除されます。

リモコンボタンの説明は、本体操作パネルの詳細説明に準じます。

■「モード」ボタン

ボタンを押すたびに「連続」「リズム」「おやすみ」のモードが切り替わり表示ランプが点灯します。

(連続) → (リズム) → (おやすみ)

◎下記のようなパターンで風量の調節を繰り返します。

※風量ボタンの設定により、リズムモード/おやすみモードの風の強さも変化します。

リズムモードについて

風量「強」と「弱」の設定が可能です。

※強い風量の多い「強」と、弱い風量の多い「弱」の自然に近い風を送り出します。

おやすみモードについて

風量 / 「最大」選択時：30分最大風運転→30分強風運転→30分中風運転→30分弱風運転→微風運転(持続)

風量 / 「強」選択時：30分強風運転→30分中風運転→30分弱風運転→微風運転(持続)

風量 / 「中」選択時：30分中風運転→30分弱風運転→微風運転(持続)

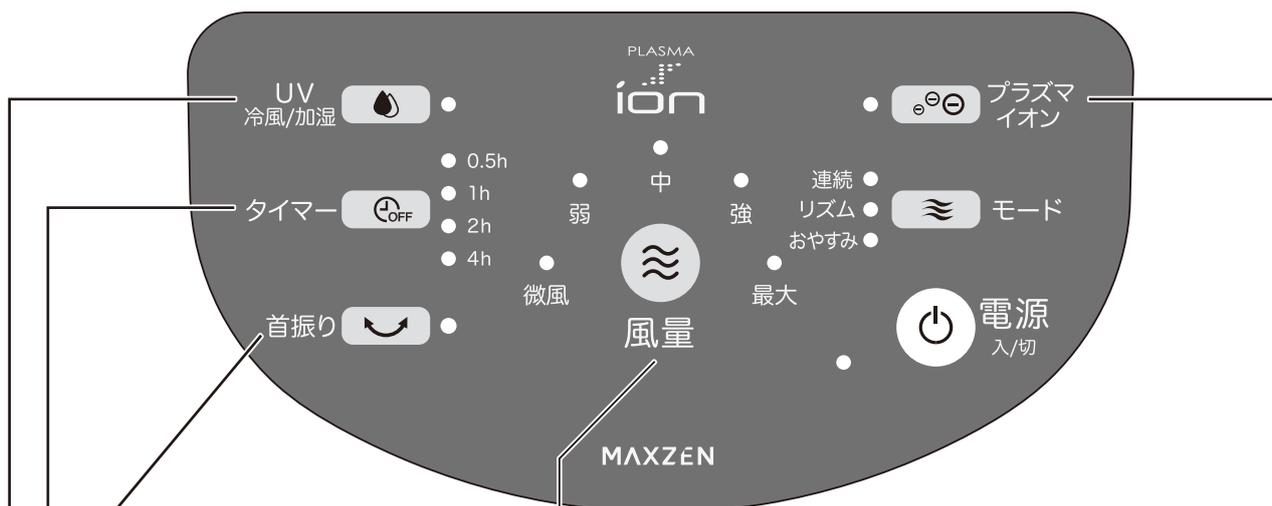
風量 / 「弱」選択時：30分弱風運転→微風運転(持続)

風量 / 「微風」選択時：微風連続運転(持続)

連続モードについて

お好みの風量で連続運転するモードです。

本体操作パネル



■「首振り」ボタン

ボタンを押すと、表示ランプが点灯して、ルーバーが左右に約60度可動します。
もう一度押すと動きが停止します。

■「タイマー」ボタン

ボタンを押すたびに設定時間が切り替わり30分～7時間30分までの30分単位で設定できます。
表示ランプが点灯した合計時間が、設定時間になります。



◎**設定例** → 「2h」「1h」「0.5h」が点灯

2+1+0.5=3.5時間(3時間30分) の設定になります。

設定した時間の経過に伴い30分ごとに残り時間を知らせるランプが点灯します。

◎**30分経過後** → 「2h」「1h」の点灯に変わります。

2+1=3時間 の残り時間になります。

設定した時間が経つと、自動的に電源が切れて運転を停止し待機状態になります。

■「風量」ボタン

ボタンを押すたびに風量の「微風」「弱」「中」「強」「最大」の5段階の表示ランプが点灯し、風量が切り替わります。

(微風) → (弱) → (中) → (強) → (最大)

■「プラズマイオン」ボタン

ボタンを押すと、表示ランプが点灯してプラズマイオンの放出を開始します。
もう一度押すとランプが消灯して停止します。

■「UV 冷風/加湿」ボタン

ボタンを押すと、表示ランプが点灯して流水し、冷たい風を送り出します。

もう一度押すとランプが消灯して送風のみになります。

※水分を含んだ風を送り出すので、加湿サーキュレーターとしても使用できます。

※UVランプは、冷風/加湿運転に連動してタンクに照射します。単独運転はできません。

運転をする

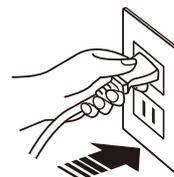
【注】ぬれた手で操作ボタンを操作しないでください。感電の原因になることがあります。

● コンセントに電源プラグを確実に差し込む

※「ピッ」と鳴って通電します。

※操作ボタンを操作すると、各表示ランプが点灯します。

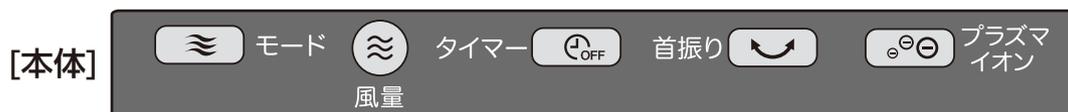
※リモコンを使用する際は、本体の電波受信部に向けて操作してください。



送風運転

1. 「電源 入/切」ボタンを押して電源を入れる [本体]  電源 入/切 [リモコン]  電源 入/切

2. 「モード」「風量」「タイマー」「首振り」「プラズマイオン」の各ボタンでお好みの設定にする



3. 「電源 入/切」ボタンを押して電源を切る [本体]  電源 入/切 [リモコン]  電源 入/切

冷風/加湿運転

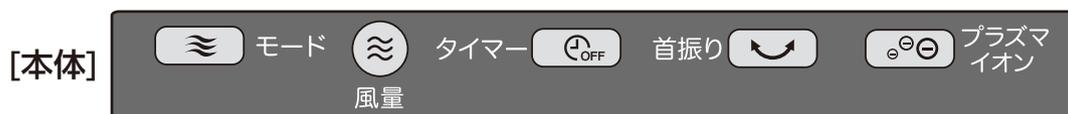
！ 必ず守る タンクに水がない状態で冷風/加湿運転はしない
→故障・誤作動の原因になります。

●冷風/加湿運転中、タンクに水がない状態になると、ランプが点滅して警告音が鳴ります。

1. 「電源 入/切」ボタンを押して電源を入れる [本体]  電源 入/切 [リモコン]  電源 入/切

2. 「UV 加湿/冷風」ボタンを押す [本体]  UV 冷風/加湿 [リモコン]  UV 冷風/加湿

3. 「モード」「風量」「タイマー」「首振り」「プラズマイオン」の各ボタンでお好みの設定にする



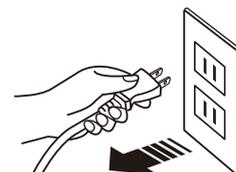
4. 「電源 入/切」ボタンを押して電源を切る [本体]  電源 入/切 [リモコン]  電源 入/切

● コンセントから電源プラグを抜く

※メモリー機能は解除されます。詳細:10ページ「電源入/切」ボタンを参照

お願い

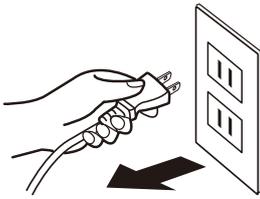
使用しない場合は、冷風扇の電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れのしかた

■必ず電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてからおこなってください。

⚠
注意



本体やリモコンは、水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない

→内部に水が入り、故障の原因になります。

みがき粉・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・硬いたわしなどは使わない

→変色や変形の原因になります。

⚠
必ず守る

気温の高い時期に、タンクに水を入れたまま4~5日使用しないと、水が腐って悪臭の原因になるため、必ず毎回新しい水に入れ替えて常に清潔な状態で使用してください。

本体 水洗いできません

●乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

汚れのはげしい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水を付けて、汚れを拭き取ってください。その後、洗剤や水分が残らないようにきれいに拭いてください。

タンク 水洗いできます

●定期的にタンクを本体から取り出して内部を洗ってください。

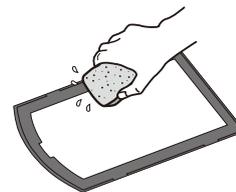
→タンク内部のヌメリなどをそのままにして水を入れていると、水が腐って悪臭の原因になります。

⊘ 禁止

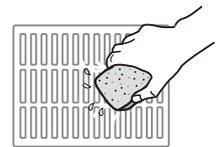
熱湯は絶対に使用しない

→タンクが変形するおそれがあります。

- ① 本体からタンクを引き出して外します。
- ② タンク周囲の黒いふちを取り外し(下図)、タンク内部の仕切り板を引き抜いたら、外したふちと仕切り板、タンク内部を水洗いします。
- ③ 柔らかい布で水気を拭き取ったら、仕切り板を溝に合わせてタンク内に差し込み、外したふちを取り付け本体にセットします。



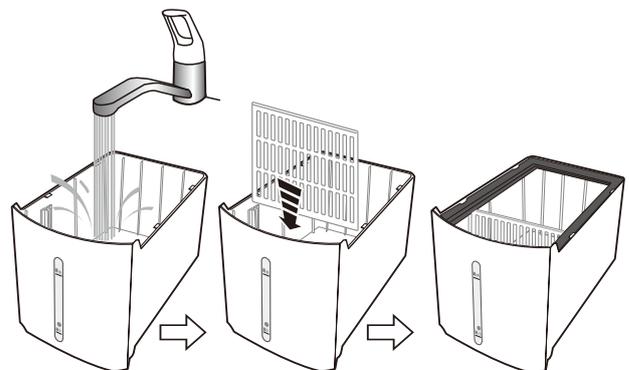
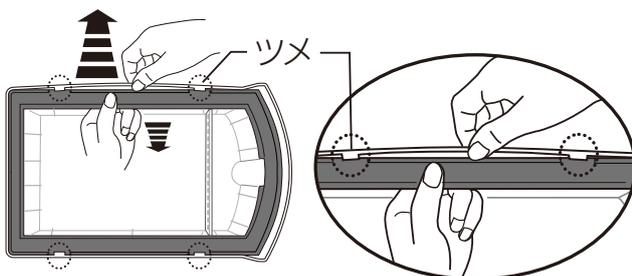
黒いふち



仕切り板

ふちの取り外しかた

タンクのふちを外方向に軽く引いて内側のタンクの4か所のツメから黒いふちを外します。



ふちの取り付けかた

黒いふちをタンクの2か所のツメにはめたら一方のタンクのふちを外方向に軽く引いて残りの2か所のツメにはめ込みます。

保冷剤

水洗いできます

❌ 禁止

冷却液の入った保冷剤の蓋は開けない



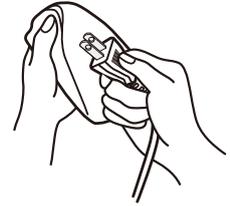
リモコン・電源プラグ

水洗いできません

●表面の汚れやほこりを拭き取ります。



●ゴミやほこりは定期的に乾いた布で拭き取ります。



長期間ご使用にならない場合は、ボタン電池を取り出しておいてください。

エアフィルター、流水フィルター

水洗いできます

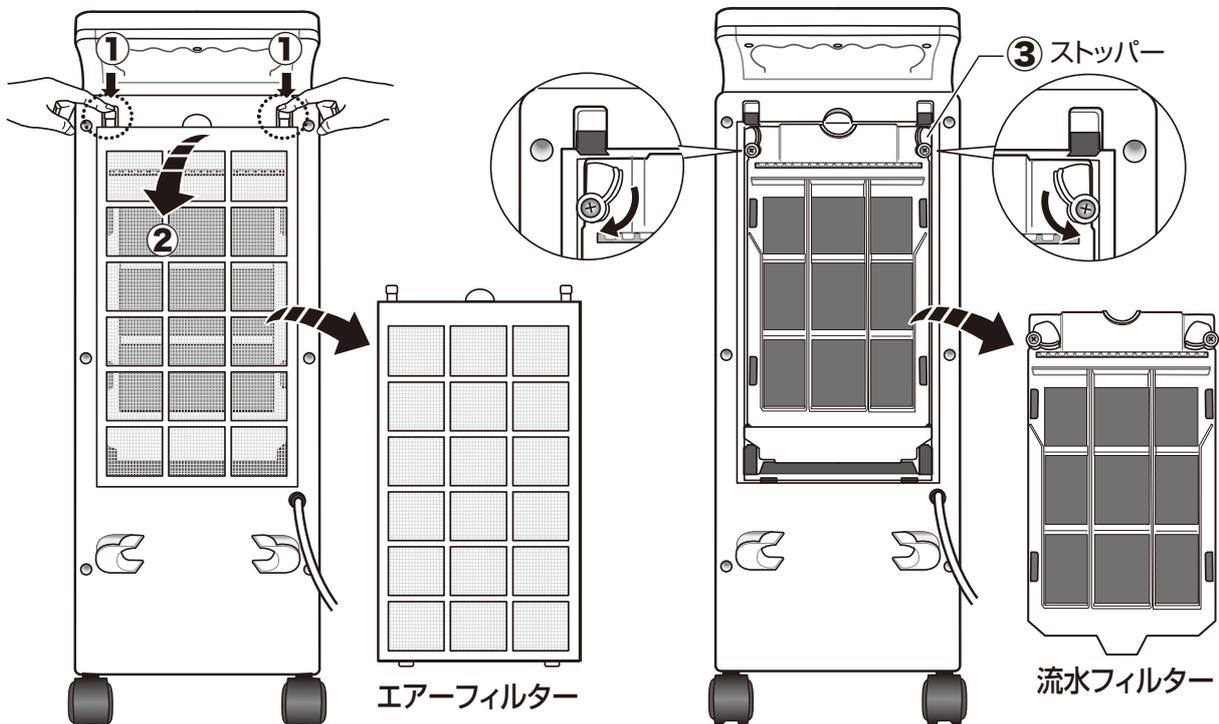
エアフィルターと流水フィルターにほこりやゴミが付着すると、送風量が少なくなったり、水漏れや故障の原因になります。普段のお手入れは掃除機でほこりを吸い取る程度の掃除でもかまいませんが1か月に1回以上は、本体から外して、水洗い掃除をしてください。

❗ 必ず守る

エアフィルター、流水フィルターを外したままで本体の運転は絶対にしない → 故障の原因になります。

1 エアフィルターと流水フィルターを外す

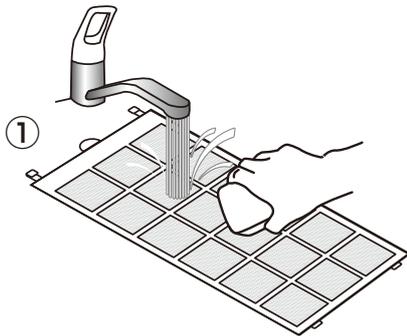
- ①エアフィルターの上部2か所のツメを下に押しながら、
- ②手前に引いてエアフィルターを取り外します。(流水フィルターが現れます。)
- ③流水フィルター上部の③ストッパーを矢印方向に回して解除し、本体から取り出します。



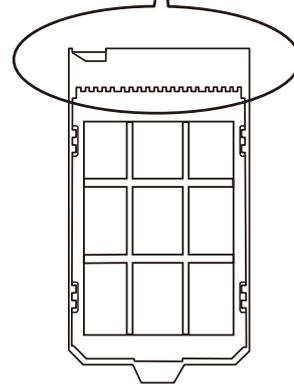
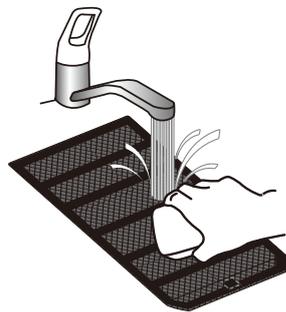
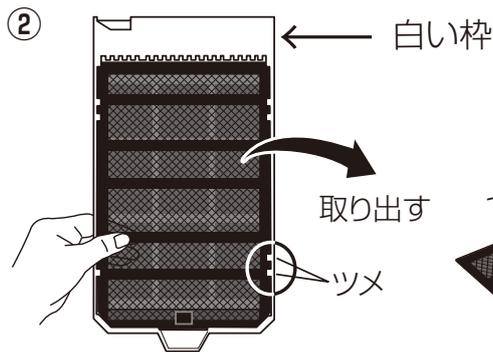
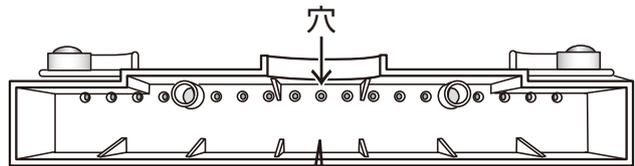
2 エアークフィルタと流水フィルタを洗う

- ①エアークフィルタのほこりをはかるたたいて落とし、やさしく水洗いしてよく乾燥させます。
- ②流水フィルタを白い枠の左右のツメから外し、両方を水洗いします。
- ③流水フィルタを白い枠にセットします。(下図 囲み内④参照)

【注】ネット部分は力を入れて洗わない

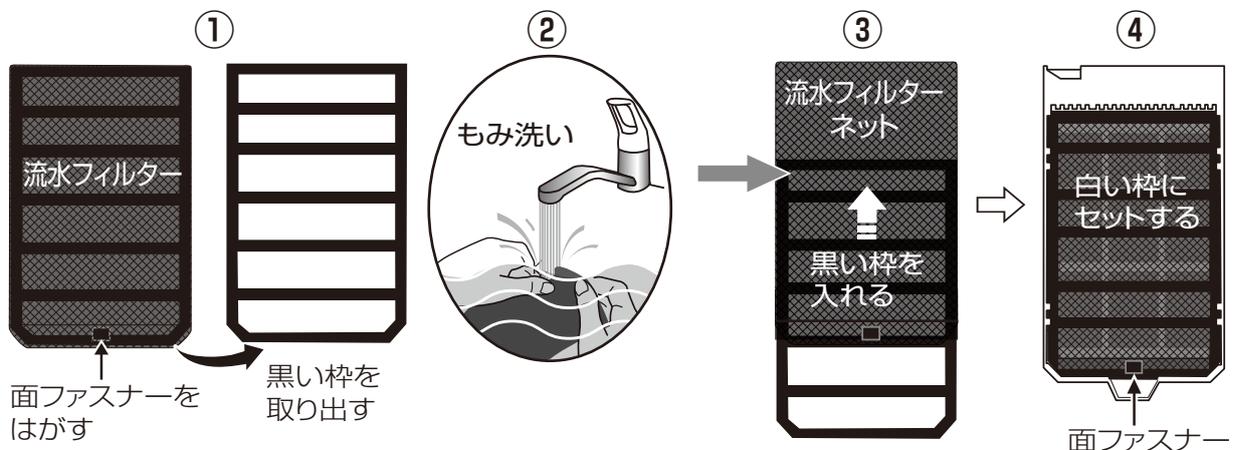


流水フィルタの白い枠の上部にある、水を通す一連の小さな穴がつかまらないように、上からシャワーなどをかけて内部のほこりやチリを洗い流してください。ここが、ほこりなどで詰まると、水漏れの原因になります。



※流水フィルタ内部の黒い枠の棧をツメの近くの裏側から指で押してツメから外します。

●流水フィルタの汚れがひどい場合は、流水フィルタネットを取り出して洗ってください。



- ①流水フィルタの下部の面ファスナーをはがし、内部の黒い枠を取り出します。
 - ②流水フィルタネットを軽くもみ洗いします。
 - ③流水フィルタネットに黒い枠を入れ、下部の面ファスナーでしっかり固定します。
 - ④流水フィルタを白い枠の形状に合わせてセットし、左右のツメにはめ込み固定します。
- ※必ず面ファスナーが白い枠の下側になるようにセットしてください。

お願い

流水フィルターネットを掃除しても汚れが取れなくなったときは、新しい流水フィルターネットに交換してください。(裏表紙 別売品参照)
→汚れたまま使用を続けると悪臭の原因になります。

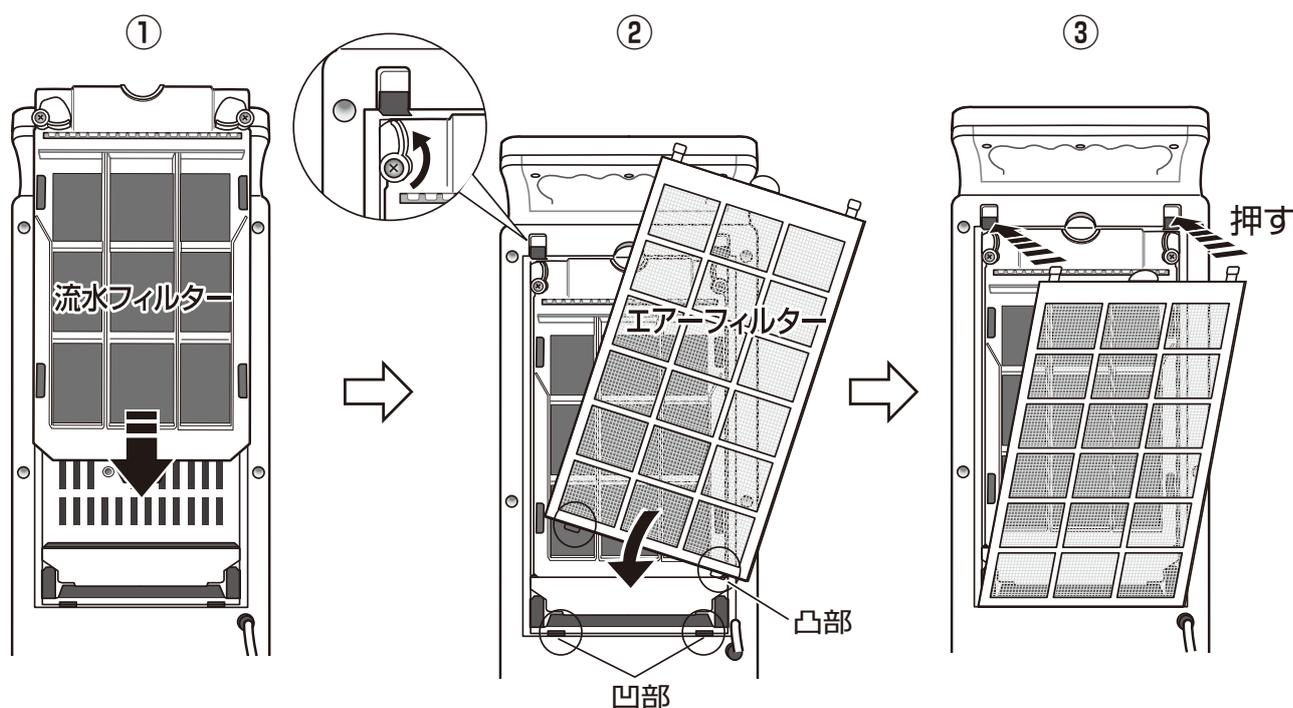


注意

別売品の「流水フィルターネット」は黒い袋状のネットのみとなりますので内部の「黒い枠」と、流水フィルターをセットする「白い枠」は捨てないでください。

3 流水フィルター、エアーフィルターの順に本体にセットする

- ①流水フィルターを本体の吸気口下部に差し込み、上部の2か所のストッパーを回して吸気口に固定します。
- ②エアーフィルターの下部の2か所の凸部を本体下部の凹部に差し込み、
- ③そのまま本体側に押し上部2か所のツメを「カチッ」と音をさせて吸気口に固定します。



必ず守る

エアーフィルター、流水フィルターを外したままで本体の運転は絶対にしない → 故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

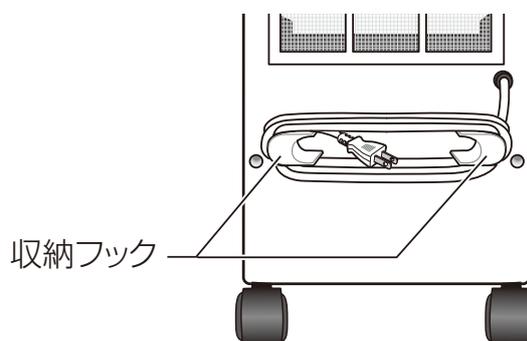
こんなとき	お調べいただくこと／なおしかた
電源ボタンを押しても風が出ない	<p>●コンセントに電源プラグが差し込まれていますか？ →コンセントに電源プラグを確実に差し込んでください。</p>
冷たい風が出てこない	<p>●タンクの水がぬるくなっていませんか？ →よく凍らせた保冷剤または氷を入れてください。暑い時期ですと温度上昇が早まります。</p> <p>●タンクの水が不足していませんか？ →タンクに新しい水を入れてください。(7 ページ参照)</p> <p>●流水フィルターが汚れていませんか？ →流水フィルターを掃除し、水が流れているか確認してください。(14.15.16 ページ参照)</p>
冷風運転にならない	<p>●タンクの水が不足していませんか？ →タンクに新しい水を入れてください。(7 ページ参照)</p> <p>●吸い上げポンプの下に保冷剤や氷が入り込んでいませんか？ →タンクを引き出し、保冷剤や氷の位置を調整してください。</p>
悪臭がする	<p>●タンクの水が腐敗していませんか？ →タンクを洗って新しい水を入れてください。(13 ページ参照)</p> <p>●流水フィルターが汚れていませんか？ →流水フィルターを掃除してください。(14.15.16 ページ参照)</p>
タンクが挿入できない	<p>●吸い上げポンプが下に下がっていませんか？ →下がっている場合は正しい位置に戻してください。(8 ページ参照)</p>
水漏れがする	<p>●エアーフィルターと流水フィルターが汚れていませんか？ →エアーフィルターと流水フィルターを掃除してください。(14.15.16 ページ参照)</p> <p>●流水フィルターや流水フィルターネットを逆向きに取り付けていませんか？ →流水フィルターと流水フィルターネットを正しく取り付けてください。(15.16 ページ参照)</p> <p>●結露ではありませんか？ →冷風運転をする場合、結露などによって床がぬれる場合があるため、トレイなどを本体の下に置いて使用してください。(6 ページ参照) ※トレイは付属されておられません。</p> <p>●水を含んだ流水フィルターを取り付けた状態で、タンク開閉をしていませんか？ →タンク開閉時は、8.9 ページの手順でおこなってください。</p>

製品仕様

定格電圧 : AC100V	タンク容量 : 約4.0 L
定格周波数 : 50/60Hz	材質 : ABS樹脂
定格消費電力 : 46W	電源コード長さ : 約180cm
タイマー : 0.5~7.5時間	付属品 : 保冷剤×2個 リモコン (お試し用ボタン電池[CR2025]×1個)
モード選択 : 連続・リズム・おやすみ	
首振り : 左右約60度可動	生産国 : 中国
風量調節 : 5段階 (微風・弱・中・強・最大)	
機能 : UV除菌、プラスマイオン、リモコン操作	
製品重量 : 約5.6kg	
本体サイズ : 約(幅)22.0×(奥行)30.5×(高さ)68.3 cm	

電源コードの収納について

電源コードは、本体背面の「収納フック」に右図の様な状態にして巻いて収納してください。



保管のしかた

- 長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- 必ずタンクの水を捨て、タンク内部をしっかりと水洗いし十分乾燥させてください。
- 流水フィルターは完全に乾燥させてください。
- 袋に入れ、購入時に入っていた箱などに入れて、直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
- リモコンのボタン電池は取り出しておいてください。

廃棄のしかた

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

別売品

流水フィルターネット
(袋状のネットのみ1枚)

販売価格：1,200円 (税別・送料別)

保冷剤2個セット

販売価格：1,200円 (税別・送料別)

お求めは、弊社お客様サポートセンターにお願い致します。

販売元 **マクスゼン株式会社**

輸入元： **MARUTAKA** (株式会社 丸隆)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

《お客様サポートセンター》 TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。